

全国一斉テグス(釣り糸)ひろい2019報告

●はじめに

5月1日～10月31日の6ヶ月間で実施しました。実施概要については次のとおりです。

★実施概要

期間：2019年5月1日(水)～10月31日(木)

場所：全国の釣りが行われている海岸、河川、湖沼、池、ダムなどの水辺。

方法：水辺を歩き、放置されているテグス・釣り具を回収。あわせて被害鳥がないかを調査しました。回収範囲は実施者の可能な範囲で行いました。回収後、テグスとその他の釣り具に分別・集計し、所定の用紙で報告。

実施者：連盟会員・専門委員、釣り人・釣り団体、一般有志など。

●結果

(1) 実施地点

8道府県14地点から報告をいただきました。道府県別の地点数は表1、水辺の環境別の数は表2のとおりです。また、実施した水辺の延べ距離は8,650mでした。

＜表1 道府県内訳＞

北海道：1	埼玉：1	神奈川：2
福井：1	静岡：2	京都：1
広島：4	長崎：2	

＜表2 環境内訳＞

海岸：7	河川：4	湖沼池：3
------	------	-------

(2) 回収したテグス・釣り具

11地点でテグスが回収されました。回収されたテグスの総量は、1379.5gでした。1g=13mに換算すると17,934.0mになります。

テグス以外の主な釣り具では、釣り針226個、ルアー9個、おもり35個、ウキ2個、金具類87個、釣り具類包装紙5個、釣り竿2本、天秤2個、タモ1個が回収されました。この他、プラスチックゴミ、ロープ、ペットボトル、タバコの吸い殻など、いろいろなゴミが回収されました。



テグスひろいの様子(日本鳥類保護連盟 京都)

★今年度のテグスひろいは、下記の延べ66名のみなさまにご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

道下志郎 様、村田孝道 様、藤波不二雄 様、ぬまくま探鳥会 様、日本野鳥の会 沼津支部 様、伊豆野鳥愛好会 様、日本鳥類保護連盟 神奈川県支部、日本鳥類保護連盟 福井県支部、日本鳥類保護連盟 京都、日本鳥類保護連盟 広島県支部 芦田川分会、日本鳥類保護連盟 広島県支部 三次分会

(順不同)

被害鳥報告

2019年3月から2020年1月までの間に、9種9羽の被害鳥の報告をいただきました(表)。テグスによる野鳥への被害は後を絶ちません。当連盟では、今後も引き続きテグスひろいを実施して、被害鳥がなくなるよう活動していきたいと考えています。

場所(通称)	被害鳥	羽数	被害状況
神奈川県大磯港	オオセグロカモメ	1	嘴と脚にテグスが絡まっている
兵庫県高砂市向島古川河口	キアシシギ	1	両脚に絡んで歩けなくなって採餌のための小移動も羽ばたくしかない状況
神奈川県茅ヶ崎市柳島	ドバト	1	脚にテグスが絡まってもがいた結果、取れなくなり川の水に流された模様
神奈川県茅ヶ崎市柳島	ウミネコ	1	脚に釣り糸が絡まり、砂防用の杭に引っかかって、落鳥した模様(写真1)
神奈川県茅ヶ崎市柳島	キョウジョシギ	1	釣り針を嘴の中に入れてしまい取れなくなった模様(写真2)
広島県福山市沼隈町能登原海岸	イソヒヨドリ♀	1	嘴がテグスに絡まって宙づり状態になっていた(写真3)
神奈川県小田原漁港	セグロカモメ	1	脚にテグスが絡まっていた
神奈川県小田原漁港	カンムリカイツブリ	1	嘴にテグスがグルグルに絡まって、もがいていた
神奈川県大磯町照ヶ崎	ミサゴ	1	飛んでいる身体から釣り糸が漂っている(写真4)

写真1 ウミネコ



写真2 キョウジョシギ



写真3 イソヒヨドリ



写真4 ミサゴ



★下記の方々から、被害鳥の報告をいただきました。誠にありがとうございました。
木下文生 様、岡根武彦 様、佐藤一成 様、匿名希望、日本鳥類保護連盟 神奈川県支部